

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者評
価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者) A B C	評価と意見
		中項目							
I 教育理念・教育目的	1. 法的整合性と独自性		<input type="radio"/>		学生便覧に明示している。(育てたい学生像、看護実践力を支える4つの力の明文化)	学生便覧		<input type="radio"/>	
	1) 教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している。								
	2) 教育理念・教育目的は法との整合性がある。		<input type="radio"/>		指定規則と整合している。 新カリキュラムの申請時の文書が残っている。 便覧に建学精神がのっている。	学生便覧 申請書		<input type="radio"/>	
	2. 教育理念・教育目的の意義と周知		<input type="radio"/>		学生便覧に明示し、ガイダンスで説明している。27年度教育課程検討会で、教育理念・教育目標と年次別学習目標とカリキュラムの関連性について検討した。27年度教育課程検討会報告書として28年度にまとめていく。	学生便覧 検討会報告書		<input type="radio"/>	
	1) 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。								
	2) 教育理念・教育目的は実際に学生の学習の指針になっている。		<input type="radio"/>		教育目標は学生便覧に示しているが、その内容が学生がわかりやすいものにするために検討した。看護実践力を支える四つの力と、年次別学習目標を便覧に明示した。	学生便覧	教育目標が意味する内容が、学生にはややわかりにくい部分があるので、学生がわかる表現にしたものを作成して28年度に便覧に載せていく。	<input type="radio"/>	理念や教育目標はどこに示してあるのか。学生便覧以外に講義要綱にはないのか。
	3. 看護専門職についての考え方		<input type="radio"/>		当校の教育標語や看護実践力についての考え方を理念の中で述べている。看護実践力についての詳細を追加し学生に提示している。主要概念についても、学生便覧に明確に示している。	学生便覧		<input type="radio"/>	理念や育てたい力に関して学生が文献学習するような機会はあるか。
	1) 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている。								
	2) 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するためにどのような教育方法をとるのかを述べている。		<input type="radio"/>		教育理念・教育目的の中には具体的な教育方法については述べていないが、学生便覧やシラバス、実習要項などに示している。	学生便覧 講義要綱 実習要項		<input type="radio"/>	・社会人基礎力の育成は必要である。社会人としてのマナー低下や仲間意識の希薄さも将来のチーム力に影響がある。学校の考える社会人基礎力とは何か。
	3) 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている。		<input type="radio"/>		沿革・特徴に教育環境については述べている。	学生便覧		<input type="radio"/>	・育てる側の社会人基礎力も問われる。看護協会でも研修を取り入れていく。
4. 看護教育についての考え方	1) 教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している。		<input type="radio"/>		教育理念のなかに、育てたい学生像を述べている。看護実践力として必要な力、主要概念の定義も述べている。教育課程検討会の中で、学生観の再確認を行い、教育目的を意識した学習活動の検討を行っている。	学生便覧		<input type="radio"/>	
	2) 看護、看護学教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている。		<input type="radio"/>		年次別教育目標を学生便覧に明示した。	教育課程検討会報告書	教育目標と、4つの力とのつながりがわかりにくい部分があるので、学生がわかる表現にしたものを作成して28年度に便覧に載せていく。	<input type="radio"/>	
	5. 学習、教育観と学生観		<input type="radio"/>		27年度教育課程検討会で、教育理念・教育目標と年次別学習目標とカリキュラムの関連性について検討した。27年度教育課程検討会報告書として28年度にまとめていく。	学生便覧		<input type="radio"/>	
5. 学習、教育観と学生観	1) 教育理念・教育目的は、養成する看護師が卒業時点において持つべき資質を明示している。		<input type="radio"/>		看護実践力は教育目的・目標の中に表現はされていないが、看護実践力を支える四つの力と、年次別学習目標を便覧に明示した。	学生便覧 教育課程検討会報告書		<input type="radio"/>	
	2) 卒業時に持つべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。		<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		中項目						A	B	C	
II 教育目標	1. 教育目標は教育理念・教育目的と一貫性がある。	○			新カリキュラムに移行する時に見直し、26年度にも検討会で見直している。教育課程検討会報告書として残している。	教育課程検討会報告書		○			
	2. 目標内容の侧面と到達レベルの侧面 1) 教育目標は、設定した教育内容を網羅している。	○			新カリキュラムに移行する際に教育目的・教育目標と合わせた科目建ての検討を行い、教育課程検討会報告書に残している。27年度は教科課程・教科外活動と教育目標とのマトリックスを作成し、現状を把握した。その過程で、教科外活動において年次別学習目標を置いた。それによって教育課程のつながりを再確認できた。28年度に学生便覧に示していく。	教育課程検討会報告書		○			
	2) 教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっている。	○			第三者評価で指摘された成長保障も含めて教育目標の内容を明確化し、27年度に学生便覧に明示した。	学生便覧 教育課程検討会報告書		○			
	3. 設定意図とその明確性、実現可能性 1) 教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している。	○			平成26年度に教育目標の検討を行い、それが到達レベルに対応していることを確認した。	教育課程検討会報告書		○			
	2) 教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている。	○			一般の人々や学生がわかりやすいように検討内容を学生便覧に載せた。学生便覧はHP上でも閲覧できるようにした。	教育課程検討会報告書 学生便覧 HP		○			
	4. 教育目標の評価 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している。	○			平成26年度の教育課程検討会で教育理念・目標の再確認をした。27年度はそこからつながる年次目標を教育課程検討会で再検討した。28年度に報告書としてまとめる。教育目的・目標を意識して教授内容や評価に活かし、教育課程を評価したものを年報としてまとめている。	教育課程検討会報告書 学生便覧 年報	28年は自己点検・自己評価の項目と年報の項目が統一されるようにしていく必要がある。	○			
	5. 繼続教育との関連 卒業後の継続教育の考え方を示したうえで、教育目標を設定している。	○			知識・技術・態度の到達度を年次目標の中で反映させてい る。 到達度に基づいた看護技術経験録を学生自身で管理し チェックしている。	学生便覧 看護技術経験録		○			
III 教育課程経営	1. 教育課程経営者の活動 1) 教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している。	○			講師会議、実習指導者会議に加え、28年度から教育課程編成委員会が開催できるように組織化した。マトリックスについては、教育課程検討会で検討し、28年度に報告書としてまとめる。	講義要綱、教育課程検討会報告書、 実習要項、講師会議・実習指導者会議議事録		○			
	2) 教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている。	○			行っているがさらに見直しをしている。	講義要綱、教育課程検討会報告書、 実習要項、講師会議・実習指導者会議議事録		○			
	2. 教育課程編成の考え方とその具体的な構成 1) 看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	○			指定規則だけでなく、自校の育てたい学生像を明確にし、そこを基に教育課程の検討をしている。 (教育課程検討会報告書に残している)	教育課程検討会報告書		○			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		中項目	A	B	C			A	B	C	
	2) 学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。		<input type="radio"/>			育てたい学生像が明確になっている。教育の方向性を示している。	教育課程検討会報告書 学生便覧		<input type="radio"/>		
	3) 学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>		
	3. 科目、単元構成										
	1) 明確な考え方と根拠をもって科目を構成している。		<input type="radio"/>			新カリキュラムの検討時に、分野・科目・単元構成の考え方と根拠を示しており、教育課程検討会報告書に残している。その考え方を学生便覧に示している。	教育課程検討会報告書 学生便覧		<input type="radio"/>		
	2) 明確な考え方と根拠をもって単元を構成している。		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>		
	3) 科目と単元の構成の考え方は、教育理念・目的、教育目標と整合性がある。		<input type="radio"/>			新カリキュラム移行時の検討をしている。第三者評価で指摘された整合性は、27年度に教育目標・年次目標と科目内容との整合性について、教育課程検討会で検討し明らかにしている。	教育課程検討会報告書 学生便覧		<input type="radio"/>		
	4) 構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である。		<input type="radio"/>			指定規則を遵守し構成している。さらには自校の考え方を取り入れ十分検討されている。	申請書		<input type="radio"/>		
	5) 構成した科目は養成所の特徴を表している。		<input type="radio"/>			人間育成に力を入れた科目構成にしている。	教育課程検討会報告書		<input type="radio"/>		
	4. 教育計画										
	1) 単位履修の方法とその制約について、教師・学生の双方がわかるように明示している。		<input type="radio"/>			学生便覧、講義要項により示している。ガイダンスも行っている。	学生便覧 講義要項 実習要項		<input type="radio"/>		
	2) 単位履修の方法は、学生の単位履修を支援するものとなっている。		<input type="radio"/>			卒業、単位認定の規定は学則・細則に示されている。追試・再試・補修実習についても示している。単位認定会議、卒業認定会議を実施し会議録も残している。	学生便覧 講義要綱・実習要項 単位認定・卒業認定会議会議録		<input type="radio"/>		
	3) 単位履修の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように科目の配列をしている。		<input type="radio"/>			新カリキュラム移行時に十分検討し、報告書に残している。基礎から実践力の統合発展に向かっていけるよう配列をしている。	教育課程検討会報告書 学生便覧		<input type="radio"/>		
	5. 教育課程の評価の体系										
	1) 単位認定の基準は看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。		<input type="radio"/>			学則第5章に規定されている。年次別に単位認定会議を行っている。	学生便覧		<input type="radio"/>		
	2) 単位認定の方法は看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>		

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		中項目						A	B	C	
	3)他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整え ておる。	<input type="radio"/>			学則第5章に記載されている。	学生便覧		<input type="radio"/>			
	4)教育課程を評価する体系を整えている。	<input type="radio"/>			学生による授業評価、保護者の意見、学校評価委員会、講師会議、実習指導者会議を行っている。加えて職業実践専門課程の認定を受ける為、平成28年度には教育課程編成委員会を組織化していくよう学校の自己点検・自己評価の実施、および第三者評価を実施し、その結果をHPで公表した。	授業評価マニュアル、結果表、コメント表 保護者の返信用紙 学校評価委員会・ 講師会議・実習指 導者会議会議録 HP		<input type="radio"/>			
	5)評価結果の活用における倫理規定を明確にして いる。	<input type="radio"/>			学生の評価の利用については、本人の申請があれば就職・進学の場合は提出することを説明している。倫理規定につい ては不備である。	組合立静岡県中部 看護専門学校にお ける個人情報の利 用について	倫理規定については28年度運営会 議で検討していく。	<input type="radio"/>			
6. 教員の教育・研究活動の充実	1)教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目 と時間数を配分している。	<input type="radio"/>			基本的には専門領域を決め担当している。授業時間数が多い科目に関しては、他の領域の教員の経験を配慮し時間数を配分している。 新人教員は準備などに時間を要することを考慮し時間数を減らしている。時間数には偏りがないよう適切に配分している。	教育事業実施計画		<input type="radio"/>			[課題] ・教員が日々新しい知識や教 育法略を得る手段を整えたほ うがよい。 ・医中誌の1台分の検索契約 があればよいと思う。 ・樺原総合病院では医中誌の 検索使用してよい。文献取 寄せも無料である。
	2)教員が授業準備のための時間をとれる体制を整え ている。	<input type="radio"/>			専門領域の教員を2名にしている。実習担当がない時は、学 内で授業準備をする時間も確保している。しかし、学内では 学生指導などが優先されることも多い。 実習指導中は時間内では授業準備の時間の確保は難しい。 実習指導者会などで、協力を要請している。体制としては十分とは言えない。	時間割 教員の実習予定一 覧表 教員の行動予定表 時間外使用時間表	28年度は教務課としての目標を明 示し、実習と役割のバランスなども 考えて整えていく、また講義と実習 のバランスを考えた時間割調整を していく。	<input type="radio"/>			
	3)教育課程の実践者である教員が、自ら成長できるよ う、自己研鑽のシステムを整えている。	<input type="radio"/>			年に1回は公費で学会に参加できるよう計画的に予算をとつ ている。専門領域交代が予定されている場合には、病院研修 や外部の長期研修などを計画し予算立てしている。 それらについては復命書があり、それ以外の自己研修の報 告は年報に残している。	研修復命書 研修報告一覧(年 報)		<input type="radio"/>			
	4)教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステム を整えている。	<input type="radio"/>			新人教員の模擬授業や学生指導検討会、他校開催の研修 会参加は継続して行っている。しかし、計画的には公開授業 や授業研究を行っていない。実際には、校内実習やプロジェクト 学習に参加することがある。第三者評価で指摘された実 務研修は28年度の実施を計画している。	新人教員模擬授業 の意見内容を記載 したもの 学生指導検討会議 事録	28年度は他の授業に参加するとき には、研鑽する意識を持って入るよ うにシステムを整えていく。 担当責任者の実務研修を実施す る。	<input type="radio"/>			
7. 学生の看護実践体験の保障	1)臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育 目的、教育目標を理解している。	<input type="radio"/>			27年度は28年度に向けて実習指導者会で報告するための計 画を立てた。28年度から実施する。	教育課程検討会報 告書	28年の実習指導者会議で配布して いく。	<input type="radio"/>			
	2)臨地実習施設は学生の看護実践の学習を支援する ため体制を整えている。	<input type="radio"/>			各施設、必ず実習指導者が学生の実習を支援している。施 設側は計画的に指導者研修を受講できるようにしている。	実習指導者履歴書		<input type="radio"/>			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目) 中項目	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見	
		A	B	C				A	B	C		
	3) 臨地実習指導における学生の学びを保障するため に、臨地実習指導者の役割を明確にしている。	<input checked="" type="radio"/>			それぞれの役割を「実習施設との申し合わせ事項」に明示している。27年度は実習指導者会議で教育理念・目的・目標・年次別学習目標・実習指導者の役割などを毎年伝えていくよう計画を立てた。	実習施設との申し合わせ事項用紙	28年度実習指導者会から実施する。	<input checked="" type="radio"/>				
	4) 臨地実習指導における学生の学びを保障するため に、教員の役割を明確にしている。	<input checked="" type="radio"/>						<input checked="" type="radio"/>				
	5) 臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。	<input checked="" type="radio"/>			協力し合いながら指導を行っている。各実習においては実習指導要綱を作成している。実習指導者会議の分科会では具体的な実習計画や指導要項を示し共通理解している。基礎実習・看護過程実習・統合実習に関しては実習指導者連絡会議等で説明し、指導案・指導計画を共有している。個々の学生の課題・目標については面接などをして共通理解のもとで指導に当たっている。 指導者が学生のレディネスを把握できるように、指導者に学内実習の予定を知らせ参加できるようにしている。	実習指導要綱 実習指導者会議議事録 実習指導者連絡会議議事録 実習指導案・指導計画 学生の課題・目標用紙			<input checked="" type="radio"/>			
	6) 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。	<input checked="" type="radio"/>			実習ガイダンスの中で説明している。27年度には28年度実習要項に入れることは出来なかった。29年度からは実習要項に項目を追加する。	実習要項	「看護学生として主体的な学習姿勢をもつ」という実習目標の学習活動に、「患者の権利を尊重する」という内容も検討していく(28年度)。29年度の実習要項には追加する。	<input checked="" type="radio"/>				
	7) 対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>			施設によっては患者との同意書を交わしている。そのことは実習オリエンテーション時と実習開始日に説明している。	時間割 実習要項		<input checked="" type="radio"/>				
	8) 臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している。	<input checked="" type="radio"/>			学生指導報告会での検討を継続している。27年度の事故報告書の分析内容を27年度年報で報告する。	事故報告書 学生指導検討会議事録		<input checked="" type="radio"/>				
	9) 学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>			実習全体ガイダンスで実習要項に記載している「医療過誤の防止」に基づき伝えるとともに、各領域のオリエンテーションでは具体的に伝えている。	実習要項 オリエンテーション指導案		<input checked="" type="radio"/>				
IV 教 授 ・ 学 習 ・ 評 価 過 程	1. 授業内容と教育課程との一貫性・看護学としての妥当性・授業内容間の関連と発展 1) 授業の内容は教育過程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。	<input checked="" type="radio"/>			教育課程検討会で年次目標と科目内容の整合性について検討した。報告書で報告する。	教育課程検討会報告書 授業計画		<input checked="" type="radio"/>				
	2) 授業内容のまとめの考え方を明確に述べている。	<input checked="" type="radio"/>						<input checked="" type="radio"/>				
	3) 授業内容のまとめの考え方は、科目目標との整合性をもっている。	<input checked="" type="radio"/>			新カリキュラム移行時の検討を教育課程検討会報告書として残している。また、シラバスにも明示している。 病態生理演習は、学習した病態生理の知識を看護実践に活用するための演習であるため、看護教員が実施している。	申請書 教育課程検討会報告書 講義要綱		<input checked="" type="radio"/>			評価通りでよい	
	4) 授業内容のまとめは、看護学の教育内容として妥当性がある。	<input checked="" type="radio"/>						<input checked="" type="radio"/>				

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		中項目	A	B	C			A	B	C	
	5) 授業内容間の重複や整合性、発展性などが明確になっている。	<input type="radio"/>				シラバスに明示している。	講義要綱	<input type="radio"/>			
	2. 授業の展開過程 1) 授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している。	<input type="radio"/>				適した授業形態を選択し、講義要綱・実習要項に明示している。	講義要綱 実習要項	<input type="radio"/>			
	2) 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画などに明示し、実践している。	<input type="radio"/>				講義要綱・実習要項、それぞれの科目・単元の授業計画・指導案に明示している。 校内実習は、少人数制として時間割を組み、複数の教員で指導にあたっている。	講義要綱 実習要項 授業の指導案、授業計画 時間割 基礎看護学グループ編成表	<input type="radio"/>			
	3) 授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。	<input type="radio"/>				TBL、グループ学習などさまざまな教育方法を取り入れることで、学生の学習が自ら深化・発展する支援をしている。	講義要綱 授業の指導案	<input type="radio"/>			
	4) 学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている。	<input type="radio"/>				校内実習や演習、総合看護実践などは他の教員の協力を得て丁寧な指導を行っている。	講義要綱 授業の指導案	<input type="radio"/>			
	3. 目標達成の評価とフィードバック 1) 評価計画を立案し、実施している。	<input type="radio"/>				授業の評価計画を立案し、28年度の講義要綱に載せる準備をした。28年度講義要綱に明示する。 一部の授業、演習や実習ではループリックを作成している。 28年度は全ての実習でループリック評価していくように準備していく。	授業の指導案 ループリック	<input type="radio"/>			
	2) 評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。	<input type="radio"/>				所感などの形成的評価に基づいて、授業を改善している。単元終了時の学生による授業評価を基に、次年度の授業の改善に向け検討している。	授業の指導案 所感用紙 授業評価表	<input type="radio"/>			
	3) 学生及び教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。	<input type="radio"/>				学生による授業評価を実施している。その結果をコメントと共に開示している。実習に対する授業評価は、次に活かすようにしている。27年度は26年度の自己点検・自己評価をもとに第三者評価を実施した。28年度は多面的評価の方法、内容と目的・活用などを明確にしていく。	試験結果 講義要綱 各授業の指導案	<input type="radio"/>			
	4) 教育目標の達成状況を多面的に把握している。	<input type="radio"/>				27年度の年報の項目は自己点検・自己評価を意識した項目にすることで、多面的に評価した。28年度の年報は自己点検・自己評価とリンクさせていく。					
	5) 学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。	<input type="radio"/>				科目的単位認定についてはシラバスで示している。実習に関しては実習要項に示している。また、具体的な基準をループリックで示しているものもある。	学生便覧 講義要綱 実習要項	<input type="radio"/>			
	6) 単位認定の評価には公平性が保たれている。	<input type="radio"/>				単位認定は、科目的評価を基に校長・副校長・庶務課長・庶務係長・教育係長・実習調整による単位認定会議で検討される。その経過および結果は、書面で保存している。	会議録 学生便覧	<input type="radio"/>			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		中項目	A	B	C			A	B	C	
V ・ 経 営 ・ 管 理 過程	4. 学習への動機づけと支援 1)シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある。	○			シラバスは統一した書式で科目のねらい、内容、テキスト、評価等を示している。また、教育課程全体の構成や進度も示している。	講義要綱		○			
	2)シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。	○			年度初めに授業と実習のガイダンスを行い、実習要項を提示している。それぞれの科目・単元でも具体的に講義概要を示している。各実習では実習ごとに詳細な実習オリエンテーションを行っている。また、図書室や情報処理室は適切な管理の下に開放しており、自主学習ができる環境を整えている。また、学生の希望があれば19時までは校舎使用ができるようにしている。	講義要綱 授業計画 実習要項 校舎使用簿		○			
V ・ 経 営 ・ 管 理 過程	1. 設置者の意思・指針 1)養成所の管理者(校長・副校長)は教育理念・教育目的についての考え方を明示している。	○			教育理念・教育目的については本校の成り立ちとともに、学生便覧や募集要項などに明示している。	学生便覧 募集要項		○			
	2)養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示している。	○			教育課程経営については学生便覧や教育事業実施計画などで明示している。	学生便覧 教育事業実施計画		○			
	3)養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している。	○			設置者へ国家試験合格率、関連3病院への就職率、教育事業報告をしている。教育評価についての考え方を明示していない。しかし、27年度は自己点検自己評価の第三者評価を行うとともに、28年度からの学校関係者評価委員会組織化の準備を行った。	管理者会議録 HP(自己点検自己評価結果・第三者評価)	28年度からは教育評価としての位置づけを明確にしたうえで、学校関係者評価委員会を実施していく。	○			
	4)養成所の管理者は養成所の管理運営などについての考え方を明示している。	○			教育事業実施方針及び計画について年度当初運営会議で承認されている。	教育事業実施方針 及び計画 教育事業実施計画 運営会議録		○			評価通りでよい。
	5)明示した管理者の考え方と、設置者との意思とは一貫性がある。	○			設置者の出席する毎月の「管理者会議」が開催され、協議すべき事項があれば協議し意思統一を図っている。	管理者会議に関する内規(仮)	志太広域事務組合の懸案事項は幅広く存在し看護学校に係る事項については協議の対象となる事が少ない。また管理職でも現場と組合事務局とは場所も離れており意思疎通を図ることに苦慮している。	○			
	6)教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している。	○			教職員による運営会議・教員会議が定期的に開かれ意思疎通を図っている。	会議録		○			
	2. 組織体制 1)養成所の組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている。	○			教育事業実施計画・志太広域事務組合処務規程により組織体制や事務分掌が定められている。	教育事業実施計画 志太広域事務組合 処務規程		○			
	2)意思決定システムが明確になっている。	○			管理者会議・運営会議・教員会議が定期的に開催され意思決定システムが明確となっている。運営会議には校長・副校長・課長・主幹・実習調整・カリキュラム補佐が出席し学校における主要な課題について意思決定している。意思決定した事項は教員会議の場で教員全員に伝達されている。会議は	会議録	28年は会議の関連性と目的を明示した組織図を作成していくことで、連動した意思決定システムを明確化していく。	○			
	3)意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている。	○						○			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者評
価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見	
		中項目	A	B	C			A	B	C		
	4) 意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている。		<input type="radio"/>			行っているが、その会議の連動性が明確になっていない部分があった。		~していきたい。	<input type="radio"/>			
	5) 組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目的達成との整合性がある。			<input type="radio"/>		人事管理は組合事務局の事務分掌とされ、学校からの要望を聞きながら組織構成・任用など協議している。志太広域事務組合は看護に特化した組合ではないため学校の組織や人事に関する要望・意見を他の部署とともに組合事務局が組織として調整する。そのため必ずしも学校の要望・意見が反映されるばかりではない。27年度は第三者評価を活用した検討を依頼していないので、28年度には、改めて依頼していく。	志太広域事務組合 例規	27年度に行った自己点検・自己評価に対する第三者評価を活用して、検討を依頼していく。	<input type="radio"/>			
	6) 教職員の資質の向上についての考え方と対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある。		<input type="radio"/>			教育理念・教育目的達成のため、各種学会、研修などに参加し資質の向上を図っている。	復命書		<input type="radio"/>			
	3. 財政基盤											
	1) 財政基盤を確保することについての考え方が明確である。		<input type="radio"/>			志太広域事務組合及び榛原総合病院組合からの事務委託による設置のため財政面についても定められている。	志太広域事務組合 例規集		<input type="radio"/>			
	2) 財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている。		<input type="radio"/>			主要事業計画を作成して、中長期的に計画性をもって質の向上に努めている。	主要事業計画		<input type="radio"/>			
	3) 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している。		<input type="radio"/>			教職員のほとんどが、関連病院からの出向者であり、財源が税に依るものであると職員として理解している。			<input type="radio"/>			
	4) 教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっている。		<input type="radio"/>			教員会議、運営会議を通して意見を反映できるようにしている。	会議録		<input type="radio"/>			
	4. 施設設備の整備											
	1) 学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している。		<input type="radio"/>			各種行事には管理者の参加があり、運営会議などを通していただいた意見を考慮して整備計画を立てている。	主要事業計画		<input type="radio"/>			
	2) 管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している。		<input type="radio"/>			整備計画は管理者の意見を参考にして志太広域事務組合で調整し、設置者の決裁をもって最終決定している。	主要事業計画		<input type="radio"/>			
	3) 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している。		<input type="radio"/>			施設や設備の老朽化に伴う補修や最新設備への変更を、計画的に実施および最新教育環境への適応等を研究している。	施設設備計画書、 予算書 主要事業計画 運営会議録		<input type="radio"/>			
	4) 医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している。		<input type="radio"/>			教員と庶務課が連携し、必要に応じて予算計上して計画的に整備している。			<input type="radio"/>			
	5) 養成所が設置されている地域環境との関連から学生及び教職員にとっての福利厚生の施設設備の整備を検討している。		<input type="radio"/>			学生の生活環境を豊かなものとするため、テニスコート等の施設や設備の整備、改善、またベンチ、観葉植物の設置、空調設備改善等、快適な環境づくりに努めている。また、地域の特性として地震・津波が考えられるため、地域の津波避難ビルとして活用されている。そのため、屋上に安全柵を整えている。	施設設備計画書、 予算書 主要事業計画		<input type="radio"/>			
	6) 学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している。		<input type="radio"/>						<input type="radio"/>			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目) 中項目	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		A	B	C				A	B	C	
	5. 学生生活の支援 1) 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている。 2) 学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている。 3) 支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている。	○			経済的支援としては、募集要項に修学支援についての説明を入れている。入学前オリエンテーション時、2年次、3年次に病院からの修学支援について説明をしている。多くの学生が修学支援を受けている。また、精神的支援としては、スクールカウンセラーによるカウンセリングの予算をとり、月に1回であるが行っている。年間15名程度の利用がある。その他、教員による面接等も行っている。支援が必要な学生については、学生指導検討会及び運営会議で検討し、支援している。	募集要項 時間割 カウンセリングの総括(年報) 学生指導検討会議事録 運営会議事録		○			
	6. 養成所に関する情報提供 1) 教育、学習活動に関する情報提供を関係者(保護者など)に行っている。 2) 関係者(保護者など)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている。 3) 看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。 4) 広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている。	○			学校便りを年に2回発行し学校の様子を知らせている。必要な学生においては学習の状況を保護者に伝えている。学年によっては、学習環境の整備に関するお願いなどを関係者に発送している。	学校便り(桂花) 依頼文書		○			
		○			学校便りによる情報提供は保護者の返信により情報提供になっているということである。	学校便り(桂花) 保護者よりの返信		○			
		○			関連市町の広報、志太広域事務組合の広報、学校訪問や学校説明会などで広報活動している。卒業式や戴帽式などへのマスコミの取材も受けている。学校祭を地域に開放している。	関連市町の広報 志太広域事務組合の広報 募集要項 掲載新聞切抜き		○			
		○			学校HPに、自己点検・自己評価や年報を載せることより、教育状況を見やすく発信できるようになった。	HP	平成28年にHPをリニューアルする。	○			
	7. 養成所の運営計画と将来構想 1) 養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している。 2) その実施・評価は将来構想との整合性をもつていい。	○			平成8年に「将来検討委員会」を設置する。平成9年のカリキュラム改正に対応できる人材の育成と質の向上のため定員の見直しをした。平成19年は学校評価委員会で大学化や保健師助産学科開設の将来構想について検討し報告している。平成25年の学校評価委員会では単科の看護大学視察を実施した。開校30年を迎える為、建て替えを計画し、具体的な検討に入らなければならない。	記念誌 「10年のあゆみ」「20年のあゆみ」紀要5号 評価委員会議録	将来構想に関しては学校運営協議会(旧学校評価委員会)で検討を継続する。 建て替えの具体的検討に入していく。	○			
		○			喫緊に認定を申請する予定の職業実践専門課程については将来構想と整合性を持つものである。			○			
	8. 自己点検・自己評価体制 1) 自己点検・自己評価の意味と目的を理解している。 2) 実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確に持っている。 3) 自己点検・自己評価体制を整え、運用している。 4) 自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している。	○			教育課程検討会や講師会議・評価委員会は継続している。27年度は26年度の自己点検・自己評価の結果を第三者評価をいたいたした。28年度から学校関係者評価委員会を組織化し、専門的知見等からの第三者評価を受けるようにすることで体制を整えていく準備を行った。	教育課程検討会報告書 講師会議・評価委員会報告書 年報		○			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目) 中項目	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		A	B	C				A	B	C	
	5)自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している。										
VI 入学	1. 教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている。	○			入試委員会、高校訪問・学校説明会、体験入学は継続して開催し、それらの意見を参考に募集要項の改善を行っている。教育理念・教育目的は募集要綱に明示していない。第三者評価を参考にして、平成29年度募集要綱から入学試験の出願資格の「疾患・異常がないもの」を削除した。	入試委員会資料、結果資料 高校訪問計画書復命書 1日体験入学報告 HP、募集要綱		○			
	2. 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性を及び教育効果の視点から分析し、検証している。	○				入学者状況一覧資料 入試委員会内容書		○			
VII 卒業・就業・進学	1. 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている。	○			卒業時の到達状況については学生便覧の履修の手引きに明示されている。	学生便覧		○			
	2. 卒業時の到達状況を分析している。	○			副校長による卒業前アンケートや面接を実施している。主担当による総括で分析している。卒業時の到達状況を、卒業時面接で確認しているが、結果の分析と公表にまでは至っていない。また、経験録の分析までは至っていない。	年報	28年度には、到達度をはかる項目について検討していく。	○			
	3. 卒業生の就業・進学状況を分析している。	○			本校の設立方針として圏域病院への就職を目的としているため、当該病院への就職者の人数や傾向を特に注視している。	卒業生の就業・進学 離職状況の資料		○			[課題] 2. 病院として到達状況を早く公表してほしい。実習中から連絡がタイムリーにできていくと良い。就職後の病棟と学生の適正のミスマッチが予防できると思う。
	4. 卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある。	○			圏域病院への就職率がかなり高いことから整合性があると判断される。国試の合格率も全国平均を上回っている。			○			
	5. 卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている。	○			就職先との連携が密であり、卒業生の状況を把握できている。	圏域病院の看護師等推移調査資料		○			
	6. 卒業生の就業先との情報交換や調査の実施などができる体制を整えている。	○			就職先との連携が密であり、卒業後の離職状況など調査している。			○			
	7. 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。	○			同窓会役員と連携して、卒業生の活動状況の情報提供を受けていく。	圏域病院の看護師等推移調査資料 指導者会議会議録 学校評価委員会会議録 講師会議会議録 教育課程検討会報告書	今後更に同窓会等活用する方法を検討。	○			
	8. 卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。	○			講師会議、評価委員会、実習指導者会議での意見を参考にしている。卒業生の状況や意見も参考に理念に基づき教育目的・目標の見直しをしている。圏域病院に卒業生が占める割合が高いことは、本校の教育目的に沿った展開となっていることを証明している。			○			

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者
評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目) 中項目	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見	
		A	B	C				A	B	C		
VIII 地域社会 / 国際交流	1. 地域社会 1)社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。 2)看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っている。 3)養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段を持っている。	○			地域の看護師不足解消のため設立され、地域病院へ人材を輩出している。学校関係者評価委員会に、地域社会を代表する構成委員を準備した。地域の希望もあり、災害時の津波避難タワーとして協力している。地域の要請を受けて出前講座や進路相談を行っている。学校祭では学生による健康相談も行なっている。今後も継続していく。	評価委員会議事録 依頼文書 出前講座等報告書 講習会などのカリキュラムの教育計画		○			2.2)の評価は過小評価ではないか。施設として整えていることは評価できる。	
	4)養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもつている。				学校祭の開催、市町の広報を利用するとともに、HPも作っている。市町の要請に応え、学生のボランティア活動や出前講座なども行っている。看護協会の行事に参加している。看護系志望の学生に対して学校説明会を実施している。	市町の広報 ボランティア活動、 出前講座等報告書						
	5)養成所が設置されている地域の特徴を把握している。				看護学校設立の主旨に示している。	HP						
	6)地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている。	○			地域の病院や施設を実習で使用している。特別講義を地域の方々にお願いしている。学校祭には、地域の実習施設、警察なども参加し協力している。	時間割 講義資料 講師名簿		○				
	2. 国際交流 1)国際的視野を広げるための授業科目を設定している。 2)国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている。 3)海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。 4)留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている。				公立であり、地域における保健・医療・福祉に貢献する人材育成を設立の目的としている。しかし、国際的視点を養うため国際看護を授業科目に設定している。情報処理室、図書室、ロビー、ラウンジでのインターネット環境、WiFi環境も整えているが、学生が自由に使わせることに関しては検討中である。帰国学生や留学生に対して特別に配慮した体制は整えていないが、門戸は開いている。英訳の卒業証明書の作成など希望者に対応している。27年度は、そのようなニーズはなかった。	講義要項						

静岡県中部看護専門学校学校 自己点検・自己評価および第三者評価
<平成27年度>

A…よく当てはまる
B…大体当てはまる
C…当てはまらない

自校の評価

第三者評価
平成27年度の自己点検・自己評価の第三
者評価は平成28年6月に学校関係者評価委員会において実施した。

大項目	評価項目(質問項目)	評価(自校)			評価内容	資料	今後の課題	評価(第三者)			評価と意見
		中項目	A	B	C			A	B	C	
IX 研究	1. 教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している。			○	27年度は2題の研究発表を行った。研究活動を行いたいが、時間の確保や文献検索の環境が整っていない部分がある。その中でも全体で教育課程検討会を継続している点は、体制的に整えるように努力している部分である。 今後は実践報告ができるような環境を整えていく。	教育課程検討会報告書 紀要	今後はは実践報告ができるような環境を整えていく。			○	評価通りでよい
	2. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている。			○						○	
	3. 研究に価値をおり、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある。		○							○	

平成27年度 自己点検自己評価の第三者評価を実施した。
評価を変えるところはなく、おおむね評価どおりでよい。
意見を参考に次年度に課題追加していく。

学校関係者評価委員 委員一同承認

学校関係者評価委員会

平成28年6月14日 本校合同講義室

委員長 望月章子 (一般社団法人日本看護学校協議会理事)
委員 齊藤伸子 (公益社団法人静岡県看護協会常務理事)
委員 古井知恵子 (焼津市立総合病院 看護副部長)
委員 連家好美 (藤枝市立総合病院 看護副部長)
委員 八木久美子 (棟原総合病院 教育担当師長)
委員 山下陽子 (静岡県中部看護専門学校 同窓会 副会長)

事務局

金子秀子 (副校長)
佐藤滋房 (庶務課長)
伊藤みどり (教務課主幹兼教育係長)
龟澤ますみ (主任主査 実習調整者)